

# 想 創 奏

平成27年7月15日

発行者 荒川輝男

編集 吉信勝之

〒536-0013 大阪市城東区鳴野東3-18-5

社会福祉法人 そうそうの杜

電話 06-6965-7171

ファックス 06-6167-2622

メール [sou-sou@gol.com](mailto:sou-sou@gol.com)

ホームページ <http://www.sou-sou.com>

## 平成27年度は新たな創造の年に



【 国宝 姫路城 】

今回の表紙は、世界遺産で国宝の姫路城です。平成21年に着工した大天守保存修理工事（平成の修理）は、平成27年3月上旬に修理を終え、3月27日にグランドオープンしました。姫路城の新たな歴史の始まりです。

そうそうの杜も今年度は、就業規則等の見直しやつむぎ館・とことこっこの移転等大きく変わろうとしています。昨年度の反省を踏まえ、コンプライアンス（法令遵守）研修や法人内研修を充実させ、新たな社会福祉法人を創造していきます。

社会福祉法人 そうそうの杜

## — 新たな法人の再生を目指して —

社会福祉法人そうそうの杜  
理事長 荒川 輝男

7月から法人体制の変更の一環として、つむぎ館（就労支援事業B型）ととことこっと（居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援）を城東区中央へ移転する作業を行っている。

そうそうの杜の資源が、最初の創奏を平成7年4月にスタートして城東区の中央に平成8年に移って以来、ほとんどの資源（庵・げんげん・伝・カワセミ・つむぎ館・とことこっと・GH）が結果として蒲生4丁目周辺で城東区中央の付近に集中することとなった。

これは、意図してこのような位置関係になったのではなく、地域との関係性において必然的に面としての広がりがある結果的にこの付近の位置に集まってしまったということである。更に言えば、この付近ではGHを入れたら約50名近くの知的障害のある人が地域生活をしている生活基盤の場所でもある。

そのために、社会福祉法人そうそうの杜は、城東区という地域を大事にして障害のある人たちの地域生活支援を中心に据えた取り組みを行ってきた。

「つむぎ館」は、平成16年12月に法人として3か所目の無認可作業所（10か所目の事業）としてスタートしたのであった。この名前の由来は、ここで手織りを導入し、利用者の創作的活動として、また地域の方に開放して織りを介在にして一緒に取り組めればいいなあという想いを込めて「つむぎ館」という名称にした。

現在は、残念ながら指導者がいないということもあり、織りをやっている利用者は1名、また地域の方が2～3名が週に2日ほど細々と続けておられるのみとなっている。

今回の移転を受けて、織りは創奏の2階へ引っ越しすることになった。これもまた、前述したように10年と少したってから、そうそうの杜の原点ともいえる場所へ戻ることになったことを考えるとそれなりの感慨を覚えるものである。

今回の引っ越しを受け、改めて「社会福祉法人そうそうの杜」の原点を振り返る機会にもなったが、法人設立時の原点を思い起こしながら今後の事業への展開を考えていきたい。

.....

### \*お知らせ

機関紙を大幅に変更してリニューアルしました。編集者も変えて何とか年間3回の発行を目指していきます。

今回は、区役所や地域の連合からも原稿をいただいております。これは法人の従来の方針である城東区という地域にどのように根付いていくのかというテーマの再確認を含めて依頼しました。

全体の内容に関しましては、地域の皆様にも解りやすくという思いで、改めて全体の事業の紹介をしておりますのでご高覧ください。

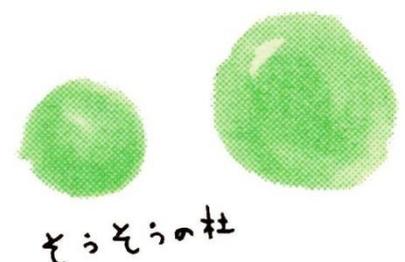
## — 障害者の高齢化 —

城東区役所保健福祉課長  
大熊章夫

みなさんこんにちは。城東区役所で保健福祉を所管しております大熊です。私は城東区に勤務して29年……。早いものです。区内の援護を要する方々の支援に向けて、高齢・障害・児童の各分野で社会福祉施設の皆さんと連携して活動を進めてきました。特にそうそうの杜さんは、発足以来のお付き合いですが、今や数百名の方を支援する、特にお世話になっている法人です。今後も連携して取り組みを進めていきたいと考えています。

城東区も、町工場の街からマンションが立ち並ぶ住の街へと変化してきました。住民の数も増え、世相も変わり、福祉を取り巻く環境も大きく変化しています。障害者福祉も、時代とともにその課題は変化しています。そこで、現在の大きな課題は何か……と聴かれたら、私は「障害者の高齢化」を上げたいと思います。私が入職したころも、特に障害の分野では、「親亡き後……」ということがよく叫ばれてました。入所施設建設運動や、自立生活運動の高まりはそうした危機感も影響していました。しかし、実際に現場で長年ワーカーをやっている、親が亡くなって残された子が……という問題が起きたことは、実は多くありませんでした。それは、親の寿命が大きく伸びたことと、以前は障害者の寿命が短かったことが要因としてあったと思われます。しかし、近年障害者の寿命も大きく伸びてきました。例えば、平成17年には、65歳以上の知的障害者は全国で約2万2千人でしたが、平成23年には6万6千人と、飛躍的に増加しています。知的障害や精神障害のある人が、高齢になり、身体機能や認知機能が落ちてきたら、どのようになるのか……ケアはどうしていくのが良いのか、手探りの状態になっており、国の方でも、高齢障害者への対応のあり方が大きな課題になっています。親も子も高齢になり、共に倒れる……という状況です。区内でも介護者であった高齢の母が急死し、50歳台の子が残される事件が昨年続発しました。おそらくこれからこうしたケースは増えていくでしょう。若い障害者の自立を考えるのももちろん大事なことは変わりませんが、高齢になった障害者を、支援者がどうケアをして地域生活を支えていくのか、これから真剣に取り組む必要があると考えています。

そうそうの杜は数多くの自立生活を支えてきた実績があります。この問題にも全国的なモデルとして取り組んでいただけたら、と期待しているところです。荒川さん、よろしくお願いいたします！



## — 「そうそうの杜」に期待 —

聖賢地域活動協議会  
会長 竹内善博

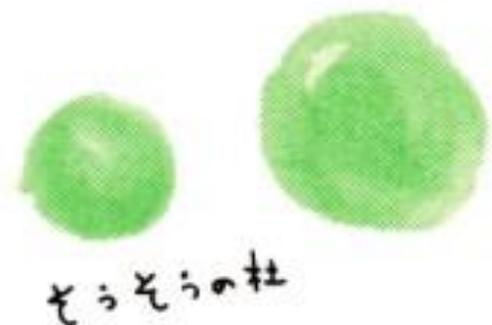
平素は、聖賢地域活動協議会行事推進に、ご支援、ご協力賜わり有難うございます。社会的にさまざまな差別、課題のある障害者みなさまの生活支援に多大なご尽力賜って居ります。社会福祉法人「そうそうの杜」荒川理事長はじめ関係者皆様方の、平素のお仕事に敬意を表すしだいです。

一昨年地域の、活性化・安心・安全の町作りをめざしての聖賢地域活動協議会結成の呼び掛けに、いち早くご参加を表明していただき誠に有難うございました。また、地域の最大イベントである聖賢祭りには、テント出店をしていただき、多くの地域住民との交流、ふれあいの場となりました。アクションプラン「人と人をつなぎ、結び、広げる活動」では地域の住民と障害者コンビで乗る二輪自転車、発想豊かに作っていただく陶芸教室では、大勢の障害者の皆さんに参加していただき、地域住民との交流の中で相互理解が深まり連帯感が生まれ育っていくものと思っております。

東日本震災後、地域の自主防災の必要性が叫ばれております。高齢者、障害者、要援護者の必要とする支援は、移動の介助や情報の提供、避難所での配慮等課題は多々ありますが、お互いが日頃から、さまざまな行事等で培われた信頼をもとに、地域の皆さんと障害者がコミュニケーションを図り、信頼関係を築いておく必要があります。

日本では、障害の程度の大小はありますが、人口の約5%の割合で障害者がおられると聞いております。「私たちの事は、私たち抜きで決めないで」という障害者の皆さんの気持ちを大切に、「何も出来ない人」と決めつけたり、「かわいそう人」と特別視したり、生きづらさを感じることはないように、偏見・差別の壁を取り除く地域の理解、啓発の必要を感じています。

今後とも、障害者の皆さんに寄り添っていただき、地域との連携のもとに、さまざまな課題に一步一步歩まれ、新たな社会福祉法人「そうそうの杜」としての創造、発展されんことを祈念いたします。



# 社会福祉法人そうそうの杜は こんなところですよ。

すべての人々(児童から高齢の方、障害の有無に関わらず)が地域の中で生き生きとした生活が送れるような地域作りと地域に根差した事業展開を目指しています。法人の夢は、様々な人が集い憩える場を区内各地につくることと24時間365日地域での生活支援ができるようになることです。

すべての事業に関するご相談は、下記までご連絡下さい

**社会福祉法人 そうそうの杜**

**地域生活支援センター あ・うん**

〒536-0013 大阪市城東区嶋野東3-18-5 学研都市線・今里筋線「嶋野駅」下車 東へ 徒歩4分

TEL 06-6965-7171

メール [sou-sou@gol.com](mailto:sou-sou@gol.com)

FAX 06-6167-2622

ホームページ [sou-sou.com](http://sou-sou.com)

## 1. 地域生活支援

### ◎ 地域生活支援センター あ・うん

電話(06)6965-7171

各種相談(生活支援や就業支援)・ホームヘルパー派遣などを行っています。

相談支援事業[障害のある方(児童も含む)の地域生活のためのあらゆる相談やケアマネジメントを実施します]

…指定特定相談支援・指定一般相談支援・指定障害児相談支援…

居宅介護支援(高齢の方のケアプランの作成やサービス利用の手続きを代行します)

### ◎ ホームヘルプセンター とことこと

電話(06)6167-7530 FAX(06)6955-8826

城東区中央2-10-15-2F 城東区社会福祉協議会ゆうゆう南側

個人のお宅に伺い生活支援を行います。

居宅介護・重度訪問介護・同行援護等(障害福祉サービス)

訪問介護(介護保険) 高齢の方の生活援助・身体介護などを行います

移動支援事業(地域生活支援事業) 障害のある方(知的障害・精神障害)の外出支援を行います。

### ◎ 庵(生活介護)定員20名

在宅の方を対象に送迎・昼食・入浴・作業などを行い日中活動の充実を目指します。

城東区中央1-6-23

電話 06-6935-0909

地下鉄鶴見緑地線・今里筋線 蒲生4丁目下車北西へ 徒歩5分

### ◎ げんげん(生活介護)定員20名

在宅の方を対象に送迎・昼食・入浴・作業などを行い日中活動の充実を目指します。

城東区蒲生3丁目11-10 正木ビル1階 電話 06-6935-1727

地下鉄鶴見緑地線・今里筋線 蒲生4丁目下車 西へ 徒歩5分

◎ 伝 児童発達支援事業(就学前) 2名 放課後等デイサービス(就学児) 8名

自然な遊びを通して障害児童の療育や訓練を行います。

城東区蒲生3丁目11-10 正木ビル2階 電話 06-6930-6540

地下鉄鶴見緑地線・今里筋線 蒲生4丁目下車 西へ 徒歩5分

2. 就業支援

就職を目指す方・のんびり仕事がしたい・静かに仕事をしたい・昼間は家を出て仕事をしたい方等が利用できます。

作業内容は、企業からの下請け作業(組み立て・シール貼り・箱折等)が中心です。

また、施設外就労・グループ就労等より実践現場に近づけた作業場所もあります。

◎ 創奏 (就労継続支援B型 定員20名)

城東区中央1-7-27

電話 06-6935-3794

地下鉄鶴見緑地線・今里筋線 蒲生4丁目下車北西へ徒歩5分

◎ Kawasemi・座座 (多機能型 就労継続支援A型 定員10名・就労継続支援B型 定員10名)

● Kawasemi (発酵薬膳レストラン)

就労継続支援A型事業 (定員10名)

(主に発達障害のある方の雇用の場)

発酵卵を使用して食の在り方を追求します。

● 座座

城東区鳴野西4-17-23 電話 06-4258-6013

JR学研都市線 今里筋線 鳴野駅下車 南西へ 徒歩1分

城東区中央1-6-29

電話 06-6935-1111

◎ つむぎ館(就労継続支援B型 定員20名)

城東区中央2-10-15-2F 電話(06)6933-7269 FAX(06)6955-8826

城東区社会福祉協議会ゆうゆう南側

◎ 今福事業所(就労移行支援定員10名・就労継続支援B型 定員10名)

城東区今福南1-2-24

電話 06-6933-0737

作業要素が複雑で付加価値の高い仕事をこなし高い工賃や一般企業への就職を目指します

\* 施設外就労 ニュードライ(株・鶴見区) キウチ化建(有・東大阪市)

施設外就労の場を設け実践的に取り組んでいきます。

◎ 大阪市障がい者就業・生活支援センター 北部地域センター

連絡先は今福事業所

\* 城東区・旭区・都島区・鶴見区をエリアとして障害のある方の就業を支援します。

3. 生活支援

◎ グループホーム (想縁綾)

一人一人がその人に必要な支援を受けながら生活を送る場です。

想(女性6名) 縁(男性5名) 綾(男性3名) 城東区中央1丁目・2丁目・鳴野西

◎ 添 (短期入所)

---

障害児・者の在宅の方で宿泊や日中の利用になります。

城東区鳴野西5-18-13 電話06-6965-1235

JR学研都市線・地下鉄今里筋線「鳴野駅」下車西へ 徒歩6分

● 然 Zen

---

短期入所事業(定員3名)

地下鉄鶴見緑地線・今里筋線 蒲生4丁目下車 北西へ 徒歩6分

城東区中央1-6-29

電話 06-6935-5550

4. 地域子育て支援事業

◎ だんだん (大阪市つどいの広場事業)

---

子育て支援事業 0~3歳までの児童とお母さんの子育てや育児相談を受けたり、気軽に時間を使う場です。

城東区中浜3-9-22 ラシーヌ中浜1階

電話06-6961-5505

地下鉄今里筋線・中央線 緑橋駅下車北へ 徒歩5分

6. 法人の特徴

①城東区内に35箇所以上の資源があります。…身近なところで利用が可能

②地域生活支援 現在70名以上の方(知的障害者)が地域で单身やそれに近い状態で生活しておられます。

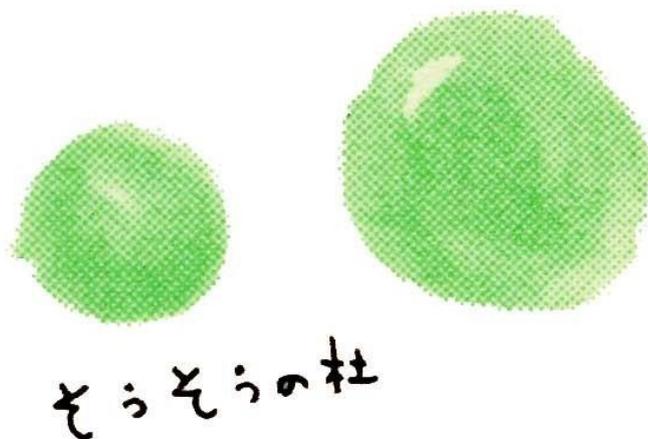
③企業就労は合計25名(20名の方の就労を続けるために継続支援を大事にしています)

④大きなテーマとして発達障害に取り組んでいます。

◎ **マンションや事業所等の清掃や作業所での仕事がありましたらご紹介ください。**

**ボランティア・登録ヘルパーを募集しています。**

◎ご利用に関しましては、それぞれの方の限度額に応じて自己負担が発生しますのでご相談時に説明いたします



## 『本 部』

社会福祉法人とは、厚生労働省の認可を受けた特殊法人になります。大きな特典としては寄付に対する控除（寄付控除）や税金が免除されるということです。そのために法人に対する規制も監督官庁である大阪市から厳しく監視されています。近年、社会福祉の構造が大きく変化していく中で、社会福祉事業を独占していた社会福祉法人が新たに社会福祉法人として果たしていくべき役割を求められています。

法人全体の運営管理・各事業の運営支援等を行い統括しています。

「総務・人事」は

行政への登録・報告を行っています。

採用・人事・労務・研修・規程等の法人内部の管理運営を行っています。

「経理」は

健全な法人運営を遂行すべく、法人全体の決算・資金管理等を行っています。

- \* 法人全般の会計・決算
  - \* 給与計算・支払
  - \* 国や市への請求
- 等があります。

\*\*\* 追記 \*\*\*

そうそうの杜には大切な家族もいます。

びんちゃん（犬・ビションフリーゼ）・ガネちゃん（リクガメ）・めだかのお世話をしています。



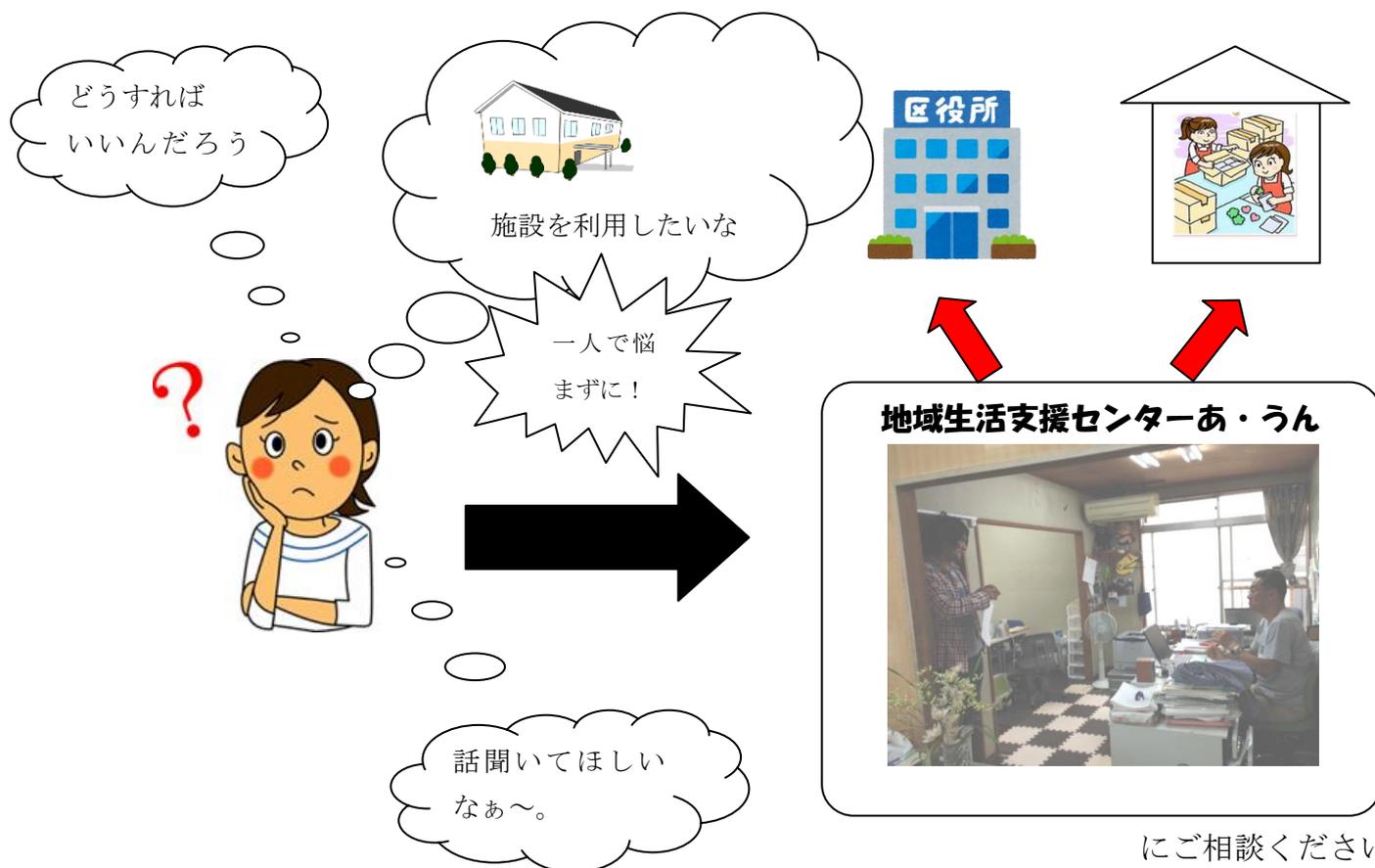
## <地域生活支援センター あ・うん 相談支援>

相談支援という言葉、まだまだ聞き慣れない人の方が多いのではないのでしょうか。これまでなかなか表に出てくる事がなかった事業だと思います。制度自体は以前からあったのですが、相談支援に関する制度が大きく変わったのは平成24年の4月からです。そしてこの27年4月からは障害福祉サービス受給者証の発行には、相談支援事業所による計画の作成が必須になりました。これから受給者証の更新のタイミングで関わる事が出てくるかもしれません。

「具体的に何すんの？」という言葉もよく聞きますし、初めて利用する人にも必ず説明をしますが、一番イメージしやすいのは「介護保険でいうところのケアマネ」です。障害福祉サービス受給者証の発行に関する計画の作成や、地域で生活をしている方の緊急事態にかけつけたり、長期間施設に入所している人の地域生活への準備を一緒に進めて行ったりと多岐に渡ります。もちろん直接的な相談も含まれます。

直接的な相談は利用している各事業所のスタッフでも全然問題はありません。しかし相談支援は他の事業よりも「事業者よりも利用者に寄った視点」で関わっていく事が本来の有り方です。現場のスタッフに話づらいことや、客観的な立場からの意見を聞きたい時等に「話を聞いてくれる役割の人がいるって言ってたな」と思い出してもらえればと思います。

そうそうの杜では荒川、真頼（さねより）、仲澤、林が相談支援の担当として配置されています。あ・うんの2階にいるので世間話がてら、気軽に遊びに来て下さい。お待ちしております。



## <ホームヘルプセンターとことこっと>が移転しました！

ホームヘルプセンターとことこっとの事務所が鳴野の法人本部から離れて、7月1日より蒲生4丁目に事務所を構えることになりました。鳴野の事務所が手狭なことと蒲生4丁目付近に派遣先が多いということもあり、つむぎ館の移転先と同じ場所に今回移転することになりました。新しい事務所で心機一転がんばりますので、新しいとことこっとをどうぞよろしくお願ひします。

「ホームヘルプセンターとことこっと」

(居宅介護・重度訪問・同行援護・移動支援・介護保険訪問介護・介護予防訪問介護)

住所／大阪市城東区中央2丁目10番15号(2階)

(区社協ゆうゆうの南側、キリスト教会の隣です。)

TEL／06(6167)7530 (つむぎ館 TEL は今までと変わりません)

FAX(つむぎ館と共有)／06(6955)8826 (7月1日～使用開始)



### 登録ヘルパーさん募集中！

- ・ガイドヘルパー (土日中心／時給 1100 円)
  - ・重度訪問介護ヘルパー  
(長時間介護あり／時給 1200 円)
- 詳細はとことこっとまでお問合せ下さい

## <庵 生活介護>

季節ごとを題材に貼り絵を描いています、ただ色紙で画のではなく牛乳パック表面のビニールを剥がしそこに色を塗りそれを細かくちぎり、それを貼って絵を描いています、貼れない人は色塗り、ちぎって、もらってそれぞれに役割を持って一つの貼り絵を完成させています。



貼り絵の材料、色塗りと紙ちぎり



貼り絵完成、3月おひな様、4月花見



5月こいのぼり、 6月アジサイとカタツムリ

## <げんげん 生活介護事業所>

普段の日中活動ですが、散歩やカラオケ（写真①）、おやつ作りなどのほかに、缶つぶし（写真②）、ペットボトルのキャップ回収、牛乳パックの紙ちぎり等を行っています。

つぶしたアルミ缶は業者に納品して、主に利用者さんの工賃になっています。

キャップ回収は、エコキャップ運動の一環。

牛乳パックについては、表面のフィルムを剥がして、紙を細かくちぎっています。それを歩いてすぐの紙漉きをしている事業所にもっていき、材料として活用してもらっています。

以上の3点（アルミ缶 ペットボトルのキャップ 牛乳パック）については、知り合いなどのほかに、近隣の方からいただけることが多くなりました。

もしこれらを提供して頂ける方がいらっしゃれば、是非ご一報ください。利用者さんと一緒に回収に行かせていただきます。（距離的な問題もあり、車で片道20分程度を対象とさせていただきます。）

外出行事の方ですが、今年に入ってキッズプラザ、お花見（残念ながら雨天中止。フロアでお花見用弁当をみんなで食べました）、鶴見緑地でバーベキュー等に行っています。その他、少人数で数回に分かれて、初詣や大阪城の梅園に行っています。お花見は弁当があるのでみなさんテンション高いのですが、梅園のほうは昼食を食べてから梅園をまわるだけなので、もうひとつご不満なような…。

ぜひ一度、遊びにきてください。運が良ければ、利用者さんが作ってくれたホットケーキをごちそうさせていただきます。

写真①



写真②



## <伝 児童発達支援 放課後等デイサービス>

現在、2歳から18歳までの知的障害・身体障害・発達障害の児童が利用されています。年1回のお楽しみ会を開いて保護者の方にお手伝いをお願いし、毎年楽しんでいます。夏休みなどの長期休みにはクッキングや、屋上でプール遊びなどもしており、法人の行事にも参加し他部署との交流もしています。昨年は外出行事でそうそうの杜の畑に行き、みんなで収穫や種まきをしてきました。( ^o^ )



去年の畑の様子

お楽しみ会の様子



## <創奏 就労継続支援B型事業所>



「作業をするところ」 「お仕事、がんばる」

「生きがいやなあ」 「みんながおるから・・・」

そうそうの杜は創奏からはじまりました。

平成7年に無認可作業所としてスタートし、今では制度上『就労継続支援B型事業所』（定員20名）として機能していますが、それぞれの利用者さんが創奏を利用する目的は昔も今も、それほど大きくは変わっていないように思います。

作業内容は基本的に座っておこなう内職作業。  
会社や企業など、受注しておこなっています。

ひとりひとりが出来ることを担当し、それぞれが協力しあいながらひとつの作業をしあげていきます。「経験を増やしたい」と、施設外就労に行っている利用者さんもいます。

ひとりひとりの利用目的や理由は違うので、全員が同じ利用日・作業時間ではありません。なので、事業所の特色はそこにいる利用者さんたちが創っています。



『住み慣れた地域で、ひとりひとりの生活を創り奏でる場所』であり続けたいという想いと願いは、昔も今も変わりはありません。

## <発酵薬膳&カフェ kawasemi 就労継続支援A型>

誰にとっても生きとし生ける者の全ての根源である「食」から、人と物を愛おしく思う心を感じていただけたらと想っております。

ただ食事を提供するだけでなく、地域の中で繋がりを感じていただけるお店作りを目指しております…。



住宅街の中に突然現れる癒しの空間。古民家の一部の木材を使い、木のぬくもりを感じて頂ける空間です。



- ・一汁一菜卵かけご飯膳  
(主菜は日替わりでお選び頂けます)

体の免疫力を高めてくれる発酵卵を用いたお食事を提供しております。  
発酵薬膳という言葉を目にすると近寄り難いイメージがあると思いますが、比較的食べやすいお料理ばかりです。一度食べれば必ずやみつきになります！ご賞味あれ。

※旬の食材を使ったコースもご用意しております。お気軽にスタッフにお声がけください。

<座座 >

『座座』の特色上、説明書きはあえて控えます。写真にてご想像、お楽しみください♪



冬の一泊旅行  
和歌山県



畑用のトラクター  
寄贈『丸紅基金』

新天地にて  
新しい仲間を迎え



新生座座  
スタート



今年も田植え  
しました(^^)

## 〈つむぎ館 就労継続支援B型事業所〉

平成27年7月1日より新しい場所に移転することになりました。  
新しい場所は100㎡程あり今までの場所に比べるとかなり大きな場所になります。  
つむぎ館は仕事、余暇を共に充実できればと思い月に1度外出行事をしています。

### 作業風景



外出行事  
ラーメン記念館見学



外出行事  
阿倍野防災センター見学



## <今福事業所 就労移行支援・就労継続支援 B 型>

・元々一般企業がやっていたビルを丸ごと借りる事ができ、部屋数もありいろんな作業に取り組んでいます。

そんな中でも、2階では内職的な仕事ではありますが、流れ作業にすることで効率を上げ、お互いに協力して仕上げていく楽しさも相まって、沢山の作業に取り組んでいます。



また、1階では企業から機械を入れてもらったり、治具を作ったりと町工場のように仕事をしています。

車のシートの骨組みや自動販売機の中のバネを作ってます。



時には、近くへ花見にも行ったりします。



いつも何をやるにも真剣にやる事が楽しさに繋がっていくと思い、皆仕事もそれ以外も真剣に向かっています。沢山の応援（仕事依頼）を楽しみにしています。

今後は夏の海水浴旅行・ボウリング大会・運動会・冬の温泉旅行と行事も盛沢山です。

<想縁綾：共同生活援助 【グループホーム】 >

社会的な常識の範囲内で、一定のルールに沿いながらも個人の生活を尊重し応援します。グループホームを出て1人暮らし等にステップアップする人もたくさんいます。人それぞれの個人の生活を大切にしています。暮らしや仕事の事やお金の事等一緒に相談して決めていきます。



想：女性6名      6階建て賃貸マンション（2住居）  
縁：男性5名      木造1戸建て（1住居）  
綾：男性3名      一戸建て鉄筋一戸建て（1住居）  
定員：14名（想6名、縁5名、綾3名）  
開所時間：24時間 365日



想



縁



綾

※見学に関しては随時可能です。お気軽にあ・うんまでお尋ねください

## <添（てん） 短期入所施設 >

H26年10月に取得した木・鉄筋コンクリート造の一戸建て物件を改築し、H27年2月に従来の嶋野西から移転して短期入所施設「添」として運営しております。以前の物件に比べ見た目もきれいになっているのと気密性も高くなり過ごしやすい空間であると感じます。

1F部分は門扉よりスロープを設置し居室までは車いすのまま入る事が可能です。また、居室・脱衣場・洗面所・トイレの床は段差がありません。



2階部分には食堂・キッチン・居室・トイレがありお茶を飲んだりおしゃべりしたり共有スペースとして時間を過ごしてもらいます。



3F部分は3つの居室がありうち1室にはベランダがあります。全ての居室にベッドを設置しておりシーツ等の洗濯は利用した方をお願いすることもあります。自宅とは異なる環境での宿泊なので、利用者さんにとっては不安・緊張が高まると思われます。緊急時に備えた練習という位置づけでの利用から始めてみてはいかがでしょうか。お近くのスタッフまで御相談ください。



## <だんだん 大阪市つどいの広場事業 >

平成20年4月にスタートした、子育て支援施設である、つどいの広場だんだんは、3か月児健診での周知活動や、城東区の子育て支援冊子【わくわく城東】の掲載を通じて城東区全域に周知されるようになり、毎月の利用者は200組を超すようになりました。地域ボランティアの方々の協力で行う毎月の企画、絵本読み聞かせ会・親子ヨガ・ベビーマッサージ等は、遠方から地下鉄や車で来られるほど好評です。



主な利用年齢は、0歳～3歳で、子どもたちの成長や吸収力など、驚きと感動の毎日です。

ランチタイムなどは、お弁当を食べながら楽しく雑談し、初対面の方たちも、すぐに仲良くなっています。

(毎月開催のボールプール)

だんだんでは、絵本の貸し出しや、利用者の皆様のご協力で集まった、ベビー用品のリサイクルボックス、子育て情報の発信など、皆様と一緒に、子育てを楽しもうと考えています。



育児の悩みは、今も昔も変わりはないようですが、核家族化や、近隣住民との関わりが少なくなった現在では、誰にも相談できずに、深刻になっているようです。だんだんでは、そんな方たちの、“ママ友”作りのお手伝いや、悩み相談など、育児ストレスが、少しでも軽減できるように、努めています。

## 特定非営利活動法人奏海の杜の T シャツ販売について

宮城県南三陸町 東日本大震災から4年と4か月が経過しています。その間そうそうの杜は全面的に支援をしてきました。当初の2年間は密に支援に入りましたが、ここ2年間は、ほとんど支援に入るところは無くなり、そうそうの杜は、被災地へ花を持っていくのではなく、種を蒔くという気持ちの中で新しい資源の創出に向け非営利特定法人奏海の杜の応援に切り替えてきました。

奏海の杜もようやく立ち立って南三陸町の障害者のある人たちのための支援の拠点として機能し始めました。

その縁もあり「にこまる T シャツ」の販売に協力しています。

皆様にも、お買い上げいただきましたら一部は運営の一助となるかと思っておりますのでご協力いただきますようお願いいたします。(荒川)

お問い合わせ（申し込み先）

### ■NPO 法人奏海の杜■

〔住所〕 宮城県登米市中田町上沼字西桜場 32-1

〔電話〕 0220-44-4171 〔FAX〕 0220-44-4841

〔Mail〕 [hisaitikouen@yahoo.co.jp](mailto:hisaitikouen@yahoo.co.jp)

〔Twitter〕 [@center\\_south3](https://twitter.com/center_south3)

〔facebook〕 <https://www.facebook.com/kanami2012>

\*活動を支援して下さる方は、ホームページをご覧ください。



◎サイズは、下記の表を参考にして下さい。

◎色は、アクア（薄い青）、チャコールグレー、ライトイエロー、ネイビー、アプリコット（うすいオレンジ）の5色です。

◎サイズによってはお手元に届くのが遅くなる場合があります。

	150	S	M	L	XL	XXL	XXXL
身丈	59	65	69	73	77	81	84
身巾	42	49	52	55	58	63	68
肩巾	38	42	46	50	54	57	60
袖丈	17	19	20	22	24	25	26

## ♪ 賛助会にご協力おねがいします♪

賛助会員の皆様、ご協力いただきましてありがとうございます。

社会福祉法人「そうそうの杜」では、広く関係方面からの事業活動へのご支援をいただくための賛助会員制度を設けています。当法人の理念や事業目的に賛同される方は、賛助会費を納入されることにより、賛助会員となります。

賛助会員の皆様には、当法人より機関紙「想創奏」をお送りします。

賛助会費を御振込いただく場合は、下記の郵便振替口座に振込みをお願いいたします。

一口 : 2,000円  
振込先(加入名) : そうそうの杜  
口座番号 : 00940-5-185986

賛助会費・一般寄付(平成27年2月4日～平成27年6月9日にご支援いただいた方)

中川晴美 林登喜子 竹本伊津子 河坂昌利 荒川輝男 福 寛  
進藤久子 渡邊晴菜 春本静良 飯田靖子 橋本喜義・千鶴子・暁子  
水谷春美 倉川晴子 綿谷陽子 森愛子 三宅克英  
(敬称略、順不同)

その他、地域の方々にアルミ缶・牛乳パック等、様々な物品のご寄付を頂いておりますことを、心より感謝申し上げます。

会費の運用は、社会福祉法人「そうそうの杜」のホームページ(決算報告)に載せております。

### 編集後記

35号は、従来の編集方法を変えました。次回は11月に出したいと考えておりますので、各部署等の皆様ご協力をお願いいたします。

